

集落の誇りと史跡の保護につながる冊子の作成

西栗倉村郷土史探訪クラブ

活動の目的

「集落単位（12集落）で史跡等を記載した冊子の作成」を行い、それを配布することにより「集落の誇りと史跡の保護が出来る様になる事」を目的とする。

それと同時に、公共工事等で「因幡街道跡、かなな流し跡」等が失われていることに対し、職員の若年化、村外出身者の増加している現状を見据え、史跡に対する認識を再確認するための警鐘とする。

活動の内容及び経過

- 4.15 4月定例会 福武文化財団助成決定を伝える。
- 5.20 5月定例会 冊子作製 方法、スケジュールを決める。
- 6.17 6月定例会 村の文化財誌 以外の書き出し word化 各地区の写真撮影
「村の文化財誌」OCRでテキスト化を行いUSBに記録し各自に配布する。
各自で地区資料の作成を始める。
- 7.15 7月定例会各地区の史跡編集データ持ち寄り、プリントを行う。
編集会議を月に2回行うようにする。
- 8.19 8月定例会 各地区の史跡編集 9月の文化祭に展示することを決める。
編集会議2回実施
助成の主旨から外れた専門的な、時間もかかる、行政が行うよう内容にすべきとの意見があり、進度に遅延が開始。
- 9.16 各地区の史跡編集
ふれあい祭文化祭に地区別のプリントを展示、初めて村民に公開を行う。
編集会議2回実施
- 10.21 各地区の史跡編集
編集会議2回実施
- 11.18 村外研修で真庭社八社、富地区たたら製鉄関係を探訪する。
 - 11.10 「老人大学」の地区探訪の案内をすることが決まり打ち合わせを行う。
 - 11.16 大学案内最終打ち合わせを行う。
「あわくら大学」に於いて作成中の資料に基づき集落の案内を行う。（60名）
編集会議2回実施
- 12.16 各地区の史跡編集
- 12.7 編集会議
- 1.20 冊子編集
専門的な内容を望んでいた顧問より、現状内容での印刷の承諾を得る。
- 1.24 委員会予算化の話有り、30年度で40万円の予算化



が実現となる。

- 2.17 冊子発注を決定（冊子、パンフレット作りに経験豊富なNPOを介することとする。）
NPOに「冊子データ」を渡し、紙質、印字、写真品質等を検討する。
- 3.17 冊子制作報告と共に岡山県教育委員会作成の因幡街道資料を配布する。
冊子表紙が「あわくら史跡探訪」より「あわくら探訪」に変更となる。
表紙（表、裏）を連続した写真で作成することにする。
年度末は印刷会社も多忙期で印刷コストが上がるため、印刷を4月に変更する。
- 4. 冊子の校正等を行い、700部印刷を行う。

活動の成果・効果

冊子を完成して行く過程で、教育委員会に内容的に認められ、30年度で予算化の運びとなる。貴財団の助成、クラブからの補填等と合わせ、700部の印刷が実現でき、全ての村民に見ていただけるようになった。（6月初め配布）貴財団の助成がきっかけとなりこのような成果が出ましたことに感謝申し上げます。

今後の課題と問題点

地区担当者により取り組みに温度差があり、記載すべき対象が漏れている物もかなりある。（集落の大小はあるものの、取り上げ対象が50件～5件と大きな隔たりがある。）

冊子には成らなかったが再調査し、クラブ内部での記録に残す必要がある。

- 代表者：井上義徳 ●所在地：英田郡西栗倉村影石
- TEL：0868-79-2374
- 設立年：2013年 ●メンバー数：15名